



公益社団法人 横浜歴史資産調査会 発行 日々の暮らしと横浜の歴史資産を一步近づける

ヨコハマヘリテイジスタイル



堂々たる姿を大岡川の水面に映す野毛都橋商店街ビル(撮影 田中光一)

ヨコハマヘリテイジ法人化10周年によせて

公益社団法人横浜歴史資産調査会 会長 宮村 忠

当公益社団法人横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)は、昭和 63 年(1988)11 月 10 日に横浜市都市整備局内に設置された委員会「横浜市歴史的資産調査会」がその前身です。その後、平成 21 年(2009)6 月 2 日の開港記念日に一般社団法人横浜歴史資産調査会(神奈川県認定)となり委員会から民間団体となりました。さらに平成 25 年(2013)4 月 1 日には、内閣府から公益社団法人横浜歴史資産調査会として認定され、全国を事業範囲とするいわゆる免税団体に衣替えいたしました。そして、令和元年(2019)6 月 2 日、法人化 10 周年を迎えたのです。法人化以前の横浜市歴史的資産調査会から数えますと 30 年の歳月が流れています。

この間、横浜市が推進する「歴史を生かしたまちづくり」に有効な歴史的建造物の現況調査をはじめ、歴史的建造物として登録、認定するための所見作成、さらには歴史を生かしたまちづくりセミナーなどさまざまな事業を行ってまいりました。

また内閣府認定の公益社団法人横浜歴史資産調査会として、全国を事業範囲とする団体に生まれ変わったことは大きな転機となりました。これを機に絹貿易で栄えた横浜の役割を歴史文化の視点から再構築するため、絹文化を介して横浜とゆかりのある全国各地の養蚕、蚕種関連市町村と連携し、絹文化構築のために平成 27 年(2015)に「シルクロード・ネットワーク」を設立いたしました。さらに、内閣府認定の公益社団法人である免税特権を生かし、歴史的建造物等を取得保存する保護事業を開始し、その保護資産の第一号が「野毛都橋商店街ビル」です。

みなさまのお力添えを頂き、歴史的遺産の取得保存団体へと飛躍いたすことができましたこと感謝申し上げます。今後、将来にわたり調査、保護、普及啓発、会員の 4 本を事業の柱に据え、横浜市都市デザイン室と両輪となって歴史を生かしたまちづくりを推進して参ります。末永くご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 平成27年 (2015) 2. 21 第37回歴史を生かしたまちづくりセミナー
「今を生きる古民家の保存と活用ー保存と活用について全国の事例に学ぶ」(写真8)
3. 14-15 シルクロード・ネットワーク・横浜フォーラム。「シルクロード・ネットワーク」設立(写真9)
3. 23 コンサートinヘリテージ「ピアノが案内する横浜の歴史とまちvol.4」
3. 30 「都市の記憶」改訂6版発行
5. 16 旧鎌倉図書館の調査(鎌倉市)(写真10)
6. 24 第38回歴史を生かしたまちづくりセミナー
「みんなで支える明日の『歴史を生かしたまちづくり』
「歴史を生かしたまちづくりファン」設置
9. 29 歴史を生かしたまちづくりファンスタート記念コンサート
「ピアノが案内する横浜の歴史とまち」



8. 茅葺見学会



9. シルクロード・ネットワーク・横浜フォーラム



10. 旧鎌倉図書館調査

- 平成28年 (2016) 3. 10 ヨコハマヘリテージブックレット2(写真11)
「港ー鉄道ーヨコハマー鉄道がつなぐ横浜の歴史と文化〜」発行
3. 16 港・鉄道・ヨコハマプロジェクト講演会・シンポジウム
「鉄道がつなぐ横浜の歴史と文化」
6. 25-26 シルクロード・ネットワーク・新庄フォーラム2016(写真12)
7. 16 第39回歴史を生かしたまちづくりセミナー「石の記憶」



11. ヘリテージブックレット2

- 平成29年 (2017) 2. 15 コンサートinヘリテージ「ピアノが案内する横浜の歴史とまちvol.5」
7. 8-9 シルクロード・ネットワーク・福島フォーラム2017
9. 9 第40回歴史を生かしたまちづくりセミナー「震災復興橋梁in大岡川」
10. 2 旧モーガン邸復元再建計画調査委員会設置(写真13)
12. 22 旧湘南電鉄(現京急電鉄)瀬戸変電所耐震改修設計調査実施、所見作成



12. シルクロード・ネットワーク・新庄フォーラム

- 平成30年 (2018) 2. 15 コンサートinヘリテージ「ピアノが案内する横浜の歴史とまちvol.6」
4. 23 北鎌倉、細野燕台茶室の調査(鎌倉市)(写真14)
6. 23-24 シルクロード・ネットワーク・鶴岡フォーラム2018
6. 29-30 旧湘南電鉄(現京急電鉄)瀬戸変電所、耐震性に関する構造振動調査
7. 15 第41回歴史を生かしたまちづくりセミナー
「いぶし銀のまちづくりー生活・文化の視点から、まちを再評価する」
7. 19 旧倉石忠雄家住宅の調査(長野県千曲市)(写真15)
9. 1 「野毛都橋商店街ビル」取得(写真16)
12. 27 旧湘南電鉄(現京急電鉄)瀬戸変電所、耐震性に関する構造振動調査報告書作成



13. 旧モーガン邸調査

- 平成31年 1. 30 コンサートinヘリテージ「ピアノが案内する横浜歴史とまちvol.7」
- 令和元年 (2019) 3. 20 ヘリテージセミナー「開港都市の町並み保存のダイナミズム」(写真17)
6. 22-23 シルクロード・ネットワーク・南砺フォーラム2019
7. 11 旧湘南電鉄(現京急電鉄)瀬戸変電所、保存活用に関する現地調査(写真18)
8. 4 第42回歴史を生かしたまちづくりセミナー
「野毛山のヒミツーどうしてハマっ子の憩いの場となったのか?〜」
9. 26-27 日本鉄道保存協会総会2019長浜大会
公益財団法人交通協力会が務めていた代表幹事団体を引き継ぐ
10. 2 第1回旧湘南電鉄(現京急電鉄)瀬戸変電所保存活用委員会設置



14. 細野燕台茶室調査

- 令和2年 (2020) 1. 29 コンサートinヘリテージ「ピアノが案内する横浜の歴史とまちvol. 8」
2. 5 旧湘南電鉄(現京急電鉄)瀬戸変電所保存活用委員会開催
3. 30 「野毛都橋商店街ビル」解説板製作
3. 30 ヨコハマヘリテージブックレットー3「横浜の茅葺き建築」発行(写真19)



17. ヘリテージセミナー「開港都市の町並み保存」



19. ヘリテージブックレット3



15. 旧倉石忠雄家住宅調査



16. 野毛都橋商店街ビル



18. 旧湘南電鉄瀬戸変電所調査

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存・活用事業について

米山淳一（公益社団法人横浜歴史資産調査会 常務理事）

◎はじめに

京浜急行電鉄（以下、京急電鉄）の金沢八景駅上りホーム（横浜に向かって左側）に隣接して建っている巨大な白い建物が湘南電気鉄道瀬戸変電所です。電車運転に欠かせない直流電源を交流電源から変電する施設として昭和4年（1929）に建造されました。翌昭和5年に湘南電気鉄道（以下、湘南電鉄）は、黄金町―浦賀間の本線と支線である金沢八景―湘南逗子間が開業し、瀬戸変電所で作られた直流電源を使用して、大きな窓とスマートな車体のデ1形電車が走り始めました。デ1形は、モダン電車として評判でした。湘南電鉄は、京浜電気鉄道と合併し京浜電気鉄道となり、戦中には東京横浜電鉄および小田急電鉄と合併し東京急行電鉄に、戦後は京急電鉄と変遷がありましたが、瀬戸変電所は平成12年（2000）まで電車運転に欠かせない京急電鉄の要の変電所として重要な役割を担ってきました。

創建当時の姿をとどめた瀬戸変電所は、一時は解体の運命にありましたが、横浜市都市デザイン室と当コハマヘリテージが一丸となつて京急電鉄と交渉を重ね、現在保存に向けた新たな道を歩みはじめています。

◎瀬戸変電所の価値

瀬戸変電所を何故、保存・活用するのか？それは、横浜の都市発展上、欠かすことの出来ないインフラストラクチャーとして大切な歴史的資産だからです。

これまでは、開港後の幕末、明治、大正期の歴史的資産の保存に目が向きがちで、昭和時代の建造物等はその歴史文化的価値を見出されずに取り壊されてきました。しかし文化庁は、50年を経過した建造物等を文化財として認める判断を行い、「国登録有形文化財」として登録を推進しています。横浜市と当ヘリテージもこの視点から近現代の建造物等の価値を再確認し、現況調査や講演会、シンポジウムを開催してきました。さらに当ヘリテージでは、昭和39年（1964）に建設された「野毛都橋商店街ビル」を、横浜らしい都市景観を形成する歴史的資産として取得、保存しました。

旧湘南電鉄瀬戸変電所は、野毛都橋商店街ビルに続く保存・活用すべく大切な横浜の歴史的資産なのです。

◎保存・活用に向けた実践的取り組み

当ヘリテージと横浜市都市デザイン室は、力を合わせて瀬戸変電所の保存・活用調査に取り組んでいます。これまでの調査は以下の報告書にまとめてあります。さらに令和元年度には、「旧湘南電鉄瀬戸変電所保存活用委員会」を設置しました。

<報告書>

- 平成26年 3月 旧湘南電鉄瀬戸変電所調査報告書
 - 平成29年 12月 瀬戸変電所耐震改修設計業務報告書
 - 平成30年 3月 歴史的建造物の耐震改修に関する検討業務委託報告書
 - 平成30年 12月 旧瀬戸変電所の耐震性に関する調査報告書
- <旧湘南電鉄瀬戸変電所保存活用委員会>
- 委員長 後藤治（工学院大学理事長）
 - 委員 小野田滋（公益財団法人鉄道総合技術研究所管理部担当部長）、梶山祐実（横浜市都市デザイン室長）、田村雅紀（工学院大学教授）、西澤秀和（関西大学教授）、山本博士（公益社団法人神奈川台場地域活性化協会理事長）、吉田綱市（横浜国立大学名誉教授・当ヘリテージ副会長）

令和2年度は、保存活用委員会の継続、建物の耐震計画の作成や保存に向けた仕組みの構築、さらには、社会実験的な活用、例えば見学会やカフェ等への取り組み、鉄道遺産の視点から講演会、シンポジウムを開催する予定です。

会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



昭和4年建造の瀬戸変電所



京急久里浜工場で復原保存されている湘南電鉄デ1形電車



変電所内部の大空間



構造調査の様子

（写真 米山淳一）

令和元年（2019年）度ご寄付して下さった皆さま ありがとうございます!!

乗山直子	1,000,000円	多田真太郎	30,000円
NPO法人横浜ロケーションコーディネイト	200,000円	安川千秋	15,000円
鈴木伸治	200,000円	テレビ神奈川	10,000円
竹内宇哲	100,000円	梅村英子	6,000円
(株)ドラゴンフライエンタテインメント	100,000円	木阪尚志	3,000円
(株)アズバース	100,000円	匿名(有志)	8,800円
横浜野毛商業協同組合	100,000円	匿名	20円
(株)アルファヴィル	100,000円		(敬称略)
イメージフィールド(株)	50,000円		
(株)カズモ	50,000円		
(株)サンク	50,000円		
(株)テレパック	50,000円		
(株)マッチポイント	50,000円		
RFA digital brains(株)	50,000円		
堀勇良	50,000円		

「歴史を生かしたまちづくり相談室」相談受付中!

【お問い合わせおよび相談はこちらへ】

公益社団法人横浜歴史資産調査会 事務局
〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号室
TEL/FAX: 045-651-1730
E-mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp

【ヨコハマヘリテイジスタイル 2020春号】 令和2年3月31日発行

公益社団法人 横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ) 〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号室

Tel: 045-651-1730 mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp